



校訓
自律・敬愛・剛健

可愛山同窓会報

発行編集

鹿児島県立川内高等学校
可愛山同窓会

所在地 〒 895-0061

鹿児島県薩摩川内市御陵下町 6-3

同窓会事務局

電話 (0996) 20-2031

学 校

電話 (0996) 23-7274



友情の絆は永遠に

令和7年3月卒業 (77期) 226名 体育大会にて

可愛山同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥にてご活躍のことと存じます。

皆様には、日頃より同窓会活動に對しまして多大なるご支援とご協力をいただき、ありがとうございますことに感謝申し上げます。

昨年も、各地で同窓会が開催されました。私も参加させていただき各支部の方々と交流を深めさせていただきました。今年度も、すでにご案内が来ていたところもありますので、参加させていただき皆様とお会いしたいと思っております。

昨年の本部同窓会総会は、一昨年の会場でありましたSSプラザさんだいが薩摩川内市誕生二十周年のイベント等で会場を予約できませんでした。以前開催しておりましたホテルオートリで盛大に開催することが出来ました。今年も、八月に予定しておりますので、ご都合がございましたら参加して頂きますようお願い申し上げます。

四月二十九日に行われました川内高校OBゴルフ大会ですが、薩摩川内市のグリーンヒルカントリークラブで昨年よりも多い二百二十四名の参加で開催されました。今年はお天気も良く素晴らしいゴルフ日和で十四期から四十五期の方々が、皆さん同期の方々と和気あいあいとラウンドされておられました。

三月には第七十七回卒業式が行われ二百二十六名が卒業されました。卒業後五十年(二十七期)・五十五年(五十二期)の卒業式参列には五十五名の方々が出席されました。特に、二十七期の方々におかれましては前日に百名以上



可愛山同窓会の皆様へ

可愛山同窓会会長

下 麥

昭一

(川高30期)

で期の同窓会もされておられ、出席された皆様はとも嬉しそうでした。

そうした中で、今年の創立記念日講演会は四月十七日に体育館で行われ、講師は東京可愛山同窓会会長もされている国立大学法人茨城大学理事・副学長の久留主泰朗(くるす やすろう)様(川高三十期)にお願いし、テーマは「なりたい自分になること」大学での学びの提案として、前半は先生の経歴や研究されてきた内容などを話され、後半は高校とは違う大学ではどう学べば良いのか、目標の持ちよう、大学の選びかたなどを話され、生徒たちはメモを取りながら自分の進路について真剣に聞き入っていました。

さて、今年度は薩摩川内市で行われる祭りなどの行事は全ての催しが開催され、市内外から多くの方々がお見えになり楽しんでおられます。皆様も日程が合いましたら、ぜひいらしてください。

また、少子高齢化・人口減少の波はご多分にもれずこの地域にも広がっており、我が母校でも新入生の確保に大変な状況が続いております。皆様におかれましては、機会がございましたら川内高校の良さをアピールしていただければと思っております。

可愛山同窓会は、本部以外に東京・関西・福岡・熊本・宮崎・阿久根・鹿児島・鹿児島県庁の八か所で運営しております。この同窓会報や卒業式の名簿巻末に、各支部の所在地・連絡先・組織などを紹介しています。皆様、最寄りの同窓会にぜひ参加して『楽しんで集う誇り高き同窓会』を楽しんでいただきたいと思います。

今後とも皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。





創立百二十八年度の 歴史の創造へ

鹿児島県立川内高等学校 校長
新留 克郎

可愛山同窓会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、皆様には日頃から多大なる御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

校長として二年目を迎えることになりました。昨年度赴任し、当初は何が何だかわからないことも多く戸惑いながらの毎日でしたが、本校職員も含めたくさんの方々に助けられながら一年を過ごさせていただきました。その間、東京、福岡の可愛山同窓会にも参加させていただきました。改めて、本校卒業生の母校を思う心の強さに感服する次第です。創立百二十八年を迎える歴史と伝統に思いを馳せると、また、その歴史と伝統が脈々と受け継がれていることを思うと、改めて身の引き締まる思いがいたします。学習面においても、部活動面においても、川内高校の生徒たちはしっかりと取り組んでいます。地域行事に献身的に取り組んでいる生徒もいます。世界的な課題に取り組んでいる生徒もいます。本場に頼もしい、誇らしい生徒たちです。昨年度以上に素晴らしい成果を挙げることで、創立百二十八年度の新しい歴史を創

れるよう、引き続き、川内高校の生徒のために、職員一同尽力して参ります。

さて、令和六年度卒業生は、学業面、部活動面ともに素晴らしい実績を残してくれました。他学年よりもクラス少ない人数でしたが、その結束力・団結力の素晴らしさは抜群の学年でした。充実した三年を終え、それぞれの進路へと旅立ち、新たな人生のステージを歩み始めています。また、やわらかな春の日差しに恵まれた四月八日、第八十回入学式を挙行了いたしました。下寮同窓会長はじめ、同窓会の方々や多くの保護者が見守る中、二百七十五名の新入生を迎えることができました。式では、「自分の命を大切に、自分の存在や価値観を尊重するとともに、他人の命を大切に、他人の存在や価値観を尊重する姿勢を持ち続けてほしい。多様な価値観をもった多様な人々と協働して新しい価値観を創り出す姿勢をもってほしい。」という話をしました。数年ぶりに三学年ともに七クラスの人数となり、賑やかな年度当初のスタートとなりました。鹿児島県で桜の開花が宣言されて二週間経過してなお、多くの桜の花が残る中、どことなく華やいだ気

分になりました。新入生に限らず、川内高校生がそれぞれの夢や希望をもって「なりたい自分」になるために日々精進し、川内高校生として人として、確かな成長を遂げる一年であってほしいと願うことです。

今私たちが生きている社会は、変わりやすく、不確実で、複雑で、曖昧な社会、いわゆるVUCAの時代と言われています。何が正解で何が正しいのかわからないような課題が私たちのまわりには山積しています。このような課題に対して最適解を見つけていくには、自分一人の力や価値観だけを抛り所とするのではなく、自分とは違った多様な価値観を有する多様な人々との関わりを通して、新しい価値観を創造することが、異なる価値観を認め合うことが不可欠です。生徒たちには、このような社会をたくましく、しなやかに生き抜いていくってほしいと強く願っています。

結びに、本校の良き伝統と校風を引き継ぎながら、生徒・職員とともに新たな歴史を紡いでいくこと、グローバルな視点で物事を考え、地域で活躍する人材育成を目指した教育活動に全力を尽くすことをお誓いするとともに、可愛山同窓会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、挨拶いたします。

創立記念日講演会 令和七年四月十七日 演題「なりたい自分になること」 「大学での学びの提案」

国立大学法人 茨城大学 理事・副学長 久留主泰朗
(川高30期生)



一 はじめに 自己紹介と研究紹介

私は昭和三十四年入来町で生まれ、入来小、入来中、川内高校を卒業し、広島大学及び大学院の修士課程を修了後、現在の三菱ケミカルグループ株式会社の研究所に就職しました。そこでは、遺伝子組換え技術を用いた有用物質生産、いわゆるバイオテクノロジー研究に従事し、平成元年に東京大学から農学博士号を取得しました。平成七年現在の職場である国立大学法人茨城大学の農学部助教として採用され、七年後に教授に昇進、遺伝子実験施設長、農学部長・大学院農学研究科長を経て令和二年から現在の職に就いています。今は、本学の入学試験、学部や大学院の教育、就職支援など教育全般を担当しています。私の専門分野は分子生物学で、

二 大学の学びについて (本学を例に)

みなさんは高校を卒業すると多様な進路から行き先を選択することになります。その中で、大学は、「学術の中心」として高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供し、社会

の発展に寄与する人材を育成する高等教育機関」と定義づけられ、その役割は、国立、公立、私立により異なります。私の所属する国立大学は「世界最高水準の研究・教育の実施や先導的・実験的な教育・研究の実施」が求められています。教育について本学の事例を紹介すると、学位授与方針として五の方針（世界の俯瞰的理解・専門分野の学力・課題解決とコミュニケーション力・社会人としての姿勢・地域活性化志向）を定め、在学中は毎年それらの達成度のアンケートを学生対象に実施し、そのアンケート結果を本学教員は授業改善につなげています。また、卒業後の三年後、さらに就職先にも直接アンケートを実施、それらの意見を学位授与方針に反映させています。このように、本学では「なりたい自分になること」サクセス」と捉え、学生の自己実現のために、「学修者本位の教育」を展開しています。そのために、昨年度からステューデント・サクセス・センターを設置し、あらゆる相談（特に初年次生を対象）、卒業・修了に向けた学修相談、学生の学外における主体的な活動（留学など）の相談、将来のキャリア形成の相談、経済的支援等キャンパスライフの相談等の窓口を充実させました。

三 大学を選ぶ場合、 何を見るか

みなさんは、自分の志望分野を決める際に、まず理系あるいは文系のどちらかの選択をされると思います。その決定は、すでに志望する分野を決めている方を除いて、英語や数学が得意あるいは苦手という点が影響すると思います。私からのアドバイスとして、英語と数学の両方をしっかりと勉強してください。なぜならば、これからは文系理系という枠に当てはまらない学問分野が主流となるからです。その上で具体的なアドバイスを話します。

(一) 入試選抜方法について (国立大学を例に)

現在、全国的に、年内入試（入試を十二月までに実施）の入学定員が増加しています。総合型入試、学校推薦型入試が該当します。志望する大学にこれらの入試があったら是非受験してください。その際に留意しておくべきは、高校一年生から高校三年生の一学期までの成績（五段階評価の場合）の平均値を四・〇以上しておくことです。さらに総合型入試は、志望分野に合う探究学習をしっかりとまとめ、入試のプレゼンテーションや面接に備えてください。ただし、当然のことですが、大学入学共通テストを受験するのを前提に一年生の頃から学習に取り組んでください。入試の機会の選択肢を広げるためにも。

(二) カリキュラム（教育課程） について

今、文部科学省では大学の教育力を格付け（ランク分け）し、高校生の大学選びに偏差値以外の尺度を取り入れようとする動きがあります。これは、入学から卒業するまでの在学中に「どれくらい力を伸ばすことができるか」を含む教育の質を数段階で評価する制度です。すでに今年から各大学に、学生の休学率、退学率、就職率などの公表が義務付けられました。前記の二で触れたように、各大学で「学修者本位の教育」学びの質を高めるための教育改革（授業改善）をきちんとやっているかが問われることとなります。

もう一つは海外留学制度です。みなさんの中には海外留学を視野に入れて大学を選ぶ人もいます。各大学では、海外の大学との学生交流協定を締結（これにより留学先の大学の授業料が不要）し留学しやすい環境を作っています。ただ、留年せずに留学できるか」がポイントです。大学によっては、留学は休学していく場合も多く、これでは四年で卒業できません。留学しても四年間で卒業できるカリキュラムになっているか、を志望する大学に問い合わせてください。その際、渡航費などの経済的支援についても聞いてください。

(三) これからの新しい学問分野 みなさんは、 Well-being と

ふるさと納税で母校を応援しませんか？

納められた寄附金額の一部が、指定された学校に関する事業に活用されます。

薩摩川内市 ふるさと納税

ふるさと納税の申込方法

① 薩摩川内市が契約する「ふるさと納税寄附受付サイト」を選びます。

【寄附受付サイト】

- ・ふるさとチョイス
- ・ANAのふるさと納税
- ・ふるさと一番
- ・ふるさと納税返礼品薩摩川内市応援サイト
- ・ぐるなび
- ・セゾンのふるさと納税
- ・Yahoo!JAPANショッピング
- ・楽天ふるさと納税
- ・auPAYふるさと納税
- ・さとふる
- ・ふるなび
- ・ふるラボ



※市HP(申込方法)

② 寄附額を確認し、返礼品を選びます

③ 寄附目的を選びます
※学校進路応援事業 (〇〇学校)

④ 決済方法を選びます
<寄付申請完了>

⑤ 選んだ返礼品が届きます



※市HP(学校紹介)

税額控除の手続き方法

税額控除（翌年度の住民税を差し引く）手続きは、「ワンストップ特例制度」と「確定申告」の二つの方法があります。どちらかの方法で申請してください。

●ワンストップ特例制度

<申請窓口>
寄附自治体（薩摩川内市）

※申請方法
・オンライン申請
・申請書類の郵送

※詳しくは右のコードでご確認ください。



※市HP(ワンストップ特例)

●確定申告

<申請窓口>
お住いの地域の税務署

※申請方法
・申告書類をe-Tax等で作成し、郵送か持参

所得税控除
(現金還付されます)

お住いの自治体へは、申請を受け付けた機関が連絡します。

翌年度住民税が控除されます

※ワンストップ特例制度で申請の方、所得税相当額の控除については、住民税の控除額に含まれています。

お問い合わせ

「学校進路応援事業」
について

薩摩川内市
産業人材確保・移住定住戦略室

ふるさと納税全般
について

薩摩川内市 観光物産課 食と物産グループ
TEL 0996-23-5111

輝け大学一年生



九州大学
農学部生物資源環境学科
中村 優太

私はこの春、九州大学農学部生物資源環境学科に入学することができました。合格することができたのは、家族や先生方、友達をはじめとする全ての方々が私を支えてくださったおかげです。また一年間私を川内高校奨学生として支援してく



熊本大学 教育学部
教員養成課程初等・
中等教育コース国語専攻
臼田 姫菜

この春、私は熊本大学教育学部初等・中等教育コース国語専攻に合格しました。これは生徒と真摯に向き合い教えてくださった先生方や互いに励まし教え合った友達、両親を含め多くの方々が支えてくださったおかげです。また、三年間川

ださりありがとうござい
ました。奨学金のおかげ
で非常に充実した勉強を
行うことができました。

川内高校で過ごした
三年間はあつという間
で、充実した時間を過ご
してきたと思います。私
が勉強を本格的に始めた
のは三年生の五月あたり
からでした。最初の頃は
模試の九州大学の判定
がDでずっと不安でし
た。しかし、勉強を続け
ていると、成績が秋あた
りから上がり始めて、最

内高校奨学生に選ばれることを目標として掲げていたことで、選んでいただけたという自信と責任を感じ、より一層勉学に励むことができました。可愛山同窓会の方々に深く感謝申し上げます。

振り返ってみると、初めは不安が尽きなかった高校生活でしたが、周りの人や環境に大変恵まれて、充実した三年間を過ごすことができました。勉強においては、一・

最終的に全統模試や共通テストリサーチではA判定を取りました。その後の二次試験対策も油断せずに取り組みましたが、試験本番の一日目で熱を出し他の受験生全員が解けるような問題が解けませんでした。しかし結果は合格でした。日々の努力が結果につながるかと痛感しました。勉強に取り組むにあたって、特に夏休みが終わったあたりからは、クラスメイトの学習に打ち込む姿を見

二年生の頃の私は進路が定まらず、定期考査の勉強に力を入れて頑張っていました。いざ三年生になっても進路は曖昧で、受験生の意識も薄く、授業は自分なりに頑張っていました。が、自習への取り組みは今まで通りで、受験を見据えたものにはなっていないかったように思います。しかし、進路相談や先生と面談をする中で、目標がはっきりしていき、それに伴って勉強への姿勢も変化しまし

て自分も頑張ろうと思つたことが多かったです。また、部活動にも熱心に打ち込みました。私は漕艇部に所属していました。ボートは一つの動作を繰り返す競技なので、自分の練習動画を何度も見返したり、上手な選手の映像を見たりして、漕ぎの研究をし、体力づくりに取り組みました。これらを一緒に頑張る仲間がいることがとても嬉しくて、仲間とともに上位大会を目指したことが最高の思い出となりました。

た。受験勉強で復習をする
際には、今まで定期考査の
ためにまとめていた要点や
授業時のメモなどがとても
役に立ち、今までの頑張り
が報われたように感じ、嬉
しかったことを覚えていま
す。二次試験対策に入って
からは、それまで以上に先
生方の支えの偉大さとあり
がたさを感じ、教員への憧
れが強まると共に、勉強に
も熱が入りました。そして
二日間の試験を乗り切り、
合格することができました

この高校生活では努力を地道に積み重ねることの大切さ自分と同じ目標を持つ仲間がいることのありがたさを学びました。大学でも高校生活で学んだことを活かし、自分を支えてくださる方々への感謝を忘れず頑張っていこうと思います。



いう英語を知っていますか？和訳すると、「心身の健康と幸福」でしょうか。例えば、「やり甲斐」や「生き甲斐」という言葉が日本語にあります。楽しみ・満足・目的意識の三つの要素が含まれた言葉だと思います。多くの人は、やり甲斐や生き甲斐があると自分は幸福だと感じていると思います。今後は、様々な社会で、幸せの専門家（幸福度を高めるリーダー）が必要になると思います。また Well-being 学は、決して文系だけではなく理系も必要な文理横断的な学問ではないかと思っています。参考にしてください。

最後に、みなさんにエールを送ります。

「よく学べ、よく遊べ」

みなさんの活躍を期待します

私、今年一組 川之上 百音
 学に行ってもっとたくさん
 のことを学びたいという
 思いがより強く



令和7年度
創立記念日講演会
感想文

一年一組 川之上 百音

なりました。

私立大学、公立大学、国立大学の担う役割がそれぞれ違うことや、プレゼンや面接での入試が増えていることなどを知ることで、これから大学を決める際に大切なことを学ぶことができました。また、休学率や退学率を調べることも、自分の進路決定の際に大切になってくることも学べました。文系・理系いずれも大学院への進学をし、数学力と英語力を身に付けることが大切だと教えていただけたので、これから数学と英語を特に勉強していこうと思いました。自分の夢を叶えるため、よく学んでよく遊べる大学生になれるように、高校での勉強を頑張りたいです。本日は、お忙しい中私たちのために講演をしてくださり、ありがとうございました。

一年三組 西 悠真

今日の講演会で大学についてたくさんのお話を学ぶことができました。高校と大学の違いについては、高校は「依存した勉強」だけど、大学は「主体的な勉強」だということを初めて知りました。また、公立、私立、国立大学の目的の違いというのも知れてとても良かったと思いました。私は、まだやりたいことが見つからないのでこの大学に行くかは決まっていません。今日学んだ「大学の選び方」をしっかりと参考にしながら考えていきたいと思います。そして、やりたいことを

見つけて志望校が決まったら、一生懸命に「志望校合格」を目指して勉強していきたいと思います。「なりたい自分になる」ということを実現できるように努力を重ねていきたいです。

二年一組 田上 翠

授業、研究の内容からカリキュラム、入試制度まで、久留主先生には広く深い知識を教わることででき、進路を選択するうえで大変貴重な時間になりました。特に印象的だったのは、留学における単位の話でした。ちょうど先日、家庭内で留学の話になり、疑問に思っていたところだったので、協定間における単位の承認、大学の渡行における援助等、海外に興味をもつ自分にとっては重要な知識、情報を学ぶことができました。帰宅したときには、今回の講演を親にも話してみようと思います。また大学に對して、偏差値が重視されがちな現代社会に違和感を覚える自分もいたので、大学の新しい指標の話は大変興味深かったです。知識、情報に對して受け身にならず、自ら積極的に探究する姿勢を大事にしたい、そう思わせる講演内容でした。

二年二組 吉岡 夕璃

大学進学を考えていたため、今回の講演で知れて良かったことがたくさんありました。私は、目標の大学が決まっていただけで

その学校のカリキュラムやいろいろな援助。制度のことを全く知りませんでした。「そろそろ調べないと」という気持ちはあったけれど、調べることを後回しにしていたんですが、講演での話を受け「大学のことが知りたい」「ちゃんと調べてみよう」という気持ちになりました。留学もしてみたいなと思ったので、留学の援助や制度があるかも把握しておこうと思います。進路を決める時期が近づいてきている今、講演で有益な話を聞くことができ本当に良かったです。

三年二組 松永 万梨音

大学受験はまだ先だと考えていた一年生の頃からあつという間に三年生になりました。受験という言葉を耳にしない日はないくらい、将来のことについて考えなければならなくなりました。今日の講演で、私の本当に行くべき大学というものをもっと深く調べてみようと思いました。

行きたい学部、学科やアドミッ
ションポリシーは知っているけど、
その他の情報について何か知って
いるかと考えたらほとんど出て
きませんでした。また、今年で
は新しい学問やAIが出てきて
大学が求める生徒というものも
変わってきていることに驚きまし
た。大学側が主体的に変わろう
としていることはすごいと思いま
した。四年も自分が学びたい学
問に集中して学べるところは大学
しかないと思うので、自分が

後悔しない選択をしようと思います。行きたい大学に行ける学力を持つて幅広い大学を見ることができるようになります。学びながら思いつきり遊べる自信を持ちます。

三年六組 岡留 みやび

今回の講演会を終えて、私は、それぞれの大学の特徴を知る大切さと、入試から在学、卒業、さらには就職までどういう傾向であるかやサポートの仕方などを知ることができました。

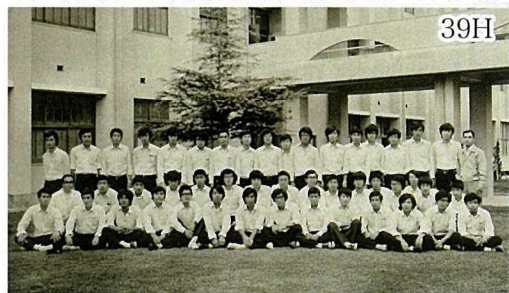
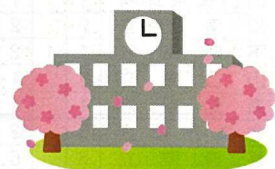
他の生徒もだと思いますが、私自身近年変わっていく入試傾向や大学のシステムに不安と心配があり、実際に大学の先生の話を聞くことができて、受験に對する意識をさらに向上させることができました。様々な大学ともつと向き合っていて、アドミッションポリシーなどをみながら、自分に一番合った大学に行けるよう努力していきたいと思ひます。

また、留学の件についても少し興味があったので、単位のことや授業内容、連携校などを知ることができ、自分の可能性を信じていろいろなことに挑戦していきたいと思います。





1975年卒業アルバムより抜粋



卒業25年目

第77回 卒業式

第77回卒業式に参加して

川内高校27期生 枇杷 眞弓

私たち二十七期の同級生に、40歳で失明し障がいを持った人への理解を深めるために活動している松永信也君がいます。

【松永君のホームページより】

僕の母校、鹿児島県立川内高等学校にはユニークな取り組みがある。卒業して五十年目の先輩が卒業式に列席するというものだ。六十八歳、僕は丁度その年齢となり出席した。二百二十名余りの卒業生、そして約五十名の先輩が卒業式の式典に参加していた。吹奏楽の生演奏の重厚な響きが開会を告げた。厳肅な空気の中で卒業証書授与、式辞、祝辞、そして在校生からの送辞、卒業生代表の答辞最後の卒業五十年代表からのメッセージとつがなく進行していった。僕達も五十年前にここを旅立っていったのだ。光陰矢の如し、まさにあつという間の時間だったような気がする。それでも現実には半世紀という気が遠くなるような時間を生きてきたのだ。卒業五十年まで辿り着けなかった同級生も何人もいた。行方の分からない同級生もいる。ここまで来られたこと、本当はそれだけでも幸せなことなのだ。しみじみとその現実に感謝した。

であるようにと心から願った。そして、後輩たちが生きている世界が平和でありますようにと願った。この卒業生達が五十年後にまたこの席に座るのだろう。その時僕たち先輩はもう誰もいない。これからをどう生きていくのか、それは、どう死んでいくのかということなのかもしれない。残された時間、僕は僕らしく生きていきたい。記念の集合写真、同級生達が前列席に僕を案内してくれた。自律・敬愛・剛健、この三つが校訓だったことを卒業五十年目に初めて知った。優等生ではなかったという証だろう。列席者の中に見える人間は僕一人だった。様々な場面できりげないサポートを受けた。僕も問題なく参加できた。僕は同級生達に感謝しながらカメラに向かった。僕が記念写真を見ることはない。でも、優しき同級生達に僕の笑顔を見てほしいと思った。(三月五日)

第77回卒業式に参列して
川内高校27期生 窪蘭 晴夫
令和7年3月3日、川内高校第77期生の卒業式に27期生として参列させていただきました。50年前と同じ体育館で、あの頃との違いといえば2階席から生の演奏が聞こえてきたこと、卒業生の数が半分以上に減ってしまったくらいでしょうか。50年前は11クラスで500名ほどいた卒業生が、今年は6クラスで226名。少子化を実感させる変化です。とはいえ、在学時代と同じ体育館での卒業式、タイムマシンで50年前に引き戻されたような不思議な感覚を覚えました。

式典は50年前と同じく厳かな雰囲気の中で卒業証書授与、校長先生の式辞、来賓の方々の祝辞が続く。その後、在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞と進みます。とりわけ心に残ったのが素朴な中に文才を感じさせる卒業生代表の答辞でした。在校生へのはなむけの言葉、先生方や両親への感謝の言葉に続き、3年間一緒に学んだ学友たちへの言葉がありました。卒業式が別れの時であると同時に新たな旅立ちの時であるという言葉に、過ぎ去った50年間を思い起こしました。

確かに卒業式は別れの時でした。50年前の卒業式の日の夕方、川内駅から一緒に急行桜島号に乗って受験に出かけたN君とは翌日の夕方、雪が舞い散る京都駅で別れたまま再会できていません。その後しばらくして音信が途絶え、50年経った今でも連絡が取れないままです。N君はまだどこかで元気に暮らしていると思いますが、再会できないまま亡くなられた方々も少なくありません。卒業生代表の答辞を聞きながら、その人たちの顔が脳裏に浮かんできました。

卒業式が別れの場であれば、同窓会は再会の場です。私たち第27期も、故郷に残った人たちが帰郷した人たちが中心になつてほぼ5年間隔で同窓会を企画してくれています。数百人の同窓生に連絡を取り、毎回100名を超える参加者を迎えての同窓会。企画してくれる実行委員の皆さんには感謝の言葉しかありません。今回も卒業式の前日に卒業50周年の同窓会を開催してくれ、一緒に学んだ旧友たちとの再会を果たすことができました。

次回ご案内 第78回卒業式(令和8年3月2日)は高28期(S 51卒)・高53期(H 13卒)をご招待予定です。

進路指導室の「窓」から

進路指導部 濱川 博司

三月三日に第七十七期生の生徒たち二百二十六名がそれぞれの進学先へ巣立っていきました。川内高校における三年間を、勉強はもちろんのこと部活動や生徒会活動に、仲間たちと大いに切磋琢磨し、時には笑いそして涙し、ともに励まし合って過ごしてきた卒業生の晴れ晴れとした姿がとても感慨深く感じられる卒業式でした。思い返せば、彼らが本校を受験した令和四年入試、当時本校は定員三百二十人（八クラス）募集でした。にもかかわらず現在の募集定員二百八十人（七クラス）にも満たない大幅な定員割れの状態で入学してきました。少ないながらも学年としてよくまとまり、さまざまな学校行事において一丸となって取り組む姿勢には目を見張るものが多々ありました。また、令和五年入学の生徒たちから現在の新制服を着用していることから、これまでの学ランや制服を着用していた最後の学年でもありました。それぞれの進学先へ夢や目標を抱いて卒業していった七十七期生の今後の活躍を期待しています。

さて今年の大学入試は、その第一関門となる「大学入学共通テスト」が新課程となつて初めて行われました。総志願者数が四十九万五千人程度と前年から三千人程度の増加。全国的な十八歳人口増に加え、現役生志願者が過去最高の比率となったことがその要因になりました。一方で既卒生は年々減少傾向にあり、大学進学に対する現役志向が強まっていることを表す八科目（千点満点）の試験に変わりました。

こうしたなかで卒業生の進路状況として、四年制大学への進学者が百六十七名、短期大学への進学者が十五名、準大学校への進学者が四名、専門学校等への進学者が三十六名、その他が四名という結果でした。四年制大学の内訳は国立大学への進学者が六十六名、私立大学への進学者が百一名です。合格した進学先は別表をご覧ください。国立大学では九州大学や熊本大学、私立大学では慶應義塾大学や立命館大学、関西学院大学といった難関大学を突破した生徒がいました。また鹿児島大学には二十名、福岡大学においては五十名の合格者がありました。専門学校等では医療系統への進学者が多く、就職者はいませんでした。今の時代は国の統計にもあるとおり、高卒者の大学への進学率が五十六％、専門学校等を含む高等教育機関への進学率が八十％を越える状況下にあります。本校の進路状況をみて卒業後に大学への進学を希望する生徒の割合が増える傾向にあります。

「勉強も100、部活動も100」がんばる学校、これが本校のめざすべき「文武両道」であると話をしています。今日もグラウンドで、体育館で、武道館で、汗を流す声が響いています。楽器の音色や発声練習も負けじと聞こえてきます。創立百二十七年の伝統を引き継ぎ、更なる飛躍をめざして教師と生徒が「もうともに努力を誓う」学校。これが川内高校の現在です。

ハッラッ
可愛山同窓会

各地区の同窓会の取り組みを取材形式でお知らせします。

東京可愛山同窓会

東京可愛山同窓会は6月7日（土）にホテルグランドヒル市ヶ谷で第56回総会・懇親会を開催いたします。

昨年は5年ぶりに開催出来て久しぶりの同窓会で盛り上がりました。

100名の出席でしたが5年間のブランクで予想より30名以上少なくまりました。

東京可愛山同窓会のサークル活動は、踊り連「気張いやんせ連」が、5月18日の渋谷・鹿児島おはら祭りに参加予定です。グラブプリを目指すべく練習のために集まっています。また、ゴルフ同好会「がらつぽウリング」も昨年は開催され、サークル活動や同期会なども進めてまいります。

今後の活動については、HPで最新情報をご案内してまいります。
<https://enoyama.jp/index.php/tokyo>

阿久根ガラツパ会

世話役 新町 博行

今回初めて投稿します。

思い起こせば在校当時は、阿久根から電車通学で、朝の課外授業がある日には、5時前には家を出ていました。現在、朝の課外授業もないと聞き羨ましく感じています。当時なかったら、もつと寝ていられたし、授業中に居眠りしなくて済んだのに！

その通学手段である肥薩おれんじ鉄道は、厳しい経営が続いています。阿久根から通学される生徒さんもしらっしゃるので、何かしら支援したいものです。

また阿久根ガラツパ会は、コロナ禍もあり、ここ数年は活動が行われていない状況です。今年こそは懇親会を開催できればと思っています。その時は、会員の皆さんはこぞって参加いただければと思います。

最後に在校生の皆さん、今しかできないことがたくさんあります。悔いを残さぬよう過ごしてください。



鹿児島県立川内高等学校

令和7年3月 卒業生進路別合格状況

専修・各種学校等	現	過	計
仁心看護専門学校	1		1
川内看護専門学校	2		2
鹿児島医療技術専門学校	6		6
鹿児島医療福祉専門学校	1		1
鹿児島鍼灸専門学校	1		1
神村学園専修学校	3		3
天文館メディカルカレッジ	1		1
鹿児島県立農業大学校	1		1
鹿児島県立吹上高等技術専門学校	1		1
鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	2		2
麻生公務員専門学校	1		1
鹿児島工学院専門学校	1		1
赤塚学園美容・デザイン専門学校	1		1
鹿児島県美容専門学校	2		2
専修・各種学校等計	24		24

私立大学	現	過	計
九州共立	2		2
九州国際	1		1
九州産業	18		18
久留米	12		12
久留米工業	2	1	3
純真学園	2		2
聖マリア学院	1		1
西南学院	4	1	5
西南女学院	1		1
第一薬科	2		2
中村学園	2		2
日本経済	2		2
福岡	50		50
福岡工業	8	6	14
福岡国際医療福祉	1		1
福岡女学院	3		3
長崎国際	1		1
熊本学園	2		2
熊本保健科学	5		5
崇城	22		22
日本文理	1		1
宮崎産業経営	1		1
九州医療科学	1		1
鹿児島国際	42		42
鹿児島純心	29		29
志学館	9		9
第一工科	7		7
私立大学計	283	8	291

準大学校	現	過	計
九州職能	3		3
準大学校計	3	0	3

準短大校	現	過	計
川内職能	5		5
準短大校計	5	0	5

私立短大	現	過	計
川崎医療	1		1
香蘭女子	1		1
西日本	2		2
鹿児島純心女子	7		7
鹿児島女子	6		6
私立短大計	17	0	17

私立大学	現	過	計
ノースアジア	1		1
国際医療福祉	1		1
城西国際	1		1
慶應義塾	1		1
専修	1		1
帝京	1		1
東海	1		1
東京農業	1		1
日本	2		2
日本体育	1		1
神奈川工科	1		1
山梨学院	1		1
名古屋学院	3		3
長浜バイオ	2		2
京都先端科学	2		2
京都産業	1		1
立命館	3		3
龍谷	2		2
大阪産業	1		1
関西学院	6		6
関西学院	1		1
近畿	7		7
大和	1		1
天理	1		1
岡山理科	6		6
環太平洋	1		1
梅光	1		1
松山	1		1

国立大学	現	過	計
福島	1		1
筑波	1		1
宇都宮	1		1
兵庫教育	1		1
岡山	1		1
山口	3		3
九州	2		2
九州工業	1		1
福岡教育	2		2
佐賀	1		1
長崎	1		1
熊本	4		4
大分	1		1
宮崎	6		6
鹿児島	30	3	33
国立大学計	54	5	59

公立大学	現	過	計
都留文科大学	1		1
山口東京理科大学	1		1
周南公立	2		2
下関公立	1	1	2
山口県立	1		1
高知県立	1		1
北九州市立	3		3
長崎県立	6		6
熊本県立	2		2
宮崎公立	1		1
名桜	1		1
公立大学計	20	1	21
国公立大計	74	6	80

国公立短大	現	過	計
大分県立芸術文化	1		1
鹿児島県立	11		11
国公立短大計	12	0	12

関西可愛山同窓会

可愛山の春秋三歳・♪。校歌の一小節です。グーグルで「えのやま」と検索してもヒットしません。いつも変換するのに「かわいさん」と入力して変換する始末です。三年間も川内に住んでいて何処にある「山」なのかわからない私は地図を出してやっと探し出し、新田神社に神代陵があったのを思い出した次第です。

可愛山陵（えのみささぎ）は天照大神（アマテラスオオミカミ）の孫である「ニギノミコト」がなくなった後に、川内の地で田んぼを開墾し稲穂の神として祀られた御陵でした。

稲作が盛んになった弥生時代のお米は温帯ジャポニカが主流で弥生式土器を使って炊いて食べていたらしい。しかし古墳時代になると気候が冷夏になり、採れるお米が雑穀米になってしまつて均一に炊けなくなりました。そこで登場したのが「甑」（こしき）で蒸して食べる方法です。それが証拠に古墳時代は古墳の周りに「甑」が並べて出土しています。

あの世でも美味しいご飯をということでしょう。そう考えると川内の西に浮かぶ甑島は日本の食文化を変えた「甑」の発祥の地だったのかもしれない。

kansai.enoyama@gmail.com
関西可愛山同窓会事務局

福岡可愛山同窓会

代表幹事 影山 裕樹

今年の冬は例年になく、寒い日が多くて、太宰府天満宮の梅の開花もかなり遅れました。かたや、昨夏の太宰府は気温35度以上の猛暑日が60日を超え、日本一暑い街となりました。そのような中で七月七日に56回目の総会、懇親会を開催しましたが、暑さにもかかわらず、多くの同窓会員の参加を頂きました。当日は筑前琵琶、寺田蝶美師範の演奏や園林先輩の「私の健康実践法」のお話など、例年同様に盛り上がりしました。又、恒例の【文武両道取り組み日本一奨励金】につきましては、今年は陸上部と理科3クラブ（物理、化学、生物部）に贈呈いたしました。

先日、同窓会宛に昨年、ご逝去された園田健夫先輩（高1期）のご子息から「父と親しくして下さった皆様へ」と題した追悼文が届きましたので、ご紹介いたします。園田先輩は福岡可愛山同窓会の第4代会長を13年間務められ、福岡同窓会の発展に貢献されました。現役時代は朝日新聞の記者を皮切りに九州朝日放送の専務取締役として、報道、番組制作に携わってこられました。豪放磊落で多趣味（囲碁、ゴルフ、釣り、麻雀、酒好き）な方という印象がありましたが、ご家庭でも頼りになる昭和の親父でいらつしやうたようです。ご子息によりますと、映画鑑賞がお好きで、高校時代に学校をサボって映画を観ていたら、同じ

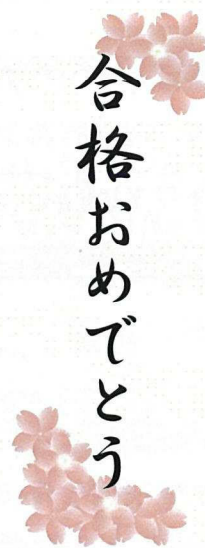
熊本可愛山同窓会

幹事 宮田 和止

映画館にお父様もいらしたそうです。後にKBCシネマの社長を引き受けられた際には趣味と実益が重なって、喜ばれたそうです。晩年、アロハシャツにボルサリーノ帽をかぶって、粋な格好で同窓会にいられていらしたことを懐かしく思い出します。

熊本は桜の名所が多く、熊本城の桜も見事に咲き、しかも今年は例年より長く咲いておりました。さて、熊本可愛山同窓会は、昨年度の総会を、令和6年11月24日（日曜日）に例年と同じく「鼎泰豊」にて開催致しました。総会へは同窓会本部より、下妻同窓会会長、常山教頭先生にご出席いただき、母校の後輩の皆様方の活躍や故郷の様子などお話しいただきました。総会では、コロナ禍でお会いできなくて、数年振りにお会いできた方もおられ、皆さん楽しく語らう時間を過ごしていただきました。

今年度の総会は、小井手会長のもと、例年通り11月最終日曜日、場所は昨年と同じく「鼎泰豊」で開催予定です。熊本在住の多くの同窓の方々のご参加をお願いいたします。若い同窓会会員の確保が話題になっております。皆様方のお近くに、熊本在住の川内高校の卒業生の方がおられましたら、ご連絡をいただければ有り難いです。





らやることを意識しています。また新田神社の階段を活用した筋力トレーニングや持久力アップメニューなど、きついこともありませんが、楽しみながら仲間と鍛錬に励んでいます。高校からバレーボールを始めた初心者のメンバーも多いですが、経験者がアドバイスをし、初心者もできる努力を惜しまず、お互いにカバールしつつとてもいい雰囲気です。ボールをつないでいます。

このような充実した高校生活を送れるのは、支えて下さる多くの方々の存在があるからです。指導してくださる先生方や陰に日向にたくさんサポートをしてくださる保護者の方々やOBの方、そしてともに向上しあう仲間への感謝の気持ちを忘れず、目標に向かってこれからは頑張っていきたいと思ひます。今後も応援よろしくお祈いします。

我々弓道部は、顧問である野崎純一先生のご指導のもと、2年生15名、1年生10名の計25名で校舎から少し離れた弓道場で活動しています。

弓道は武道で、弓を引く技術を磨いていくことを通じて、己の人格を磨いていくことがとても大切なこととなります。弓道では、心と技を一体にし、自分の内面の価値を高め、自分の人生をより豊かにするためにするための高い目標として「真・善・美」というものが掲げられています。真は正しい射法で弓を引くこと、また一射ごとにそれを目指す姿勢のこと、善は礼節を大切に相手と慈しむ精神、そして美は真と善が一体になったときに現れる美しさのことです。この高い目標を目標とすることで人間的にも成長できます。

これは日々の部活の活動の中でも同様で、出場する地区大会や県大会に向けて、努力を重ねる部員同士で切磋琢磨し互いに高めあっていることや、部活動を通じて部員や先生方、OBやOGの方、地域の方々に関わっていくことで人間的に大きく成長していくことができます。我々は現在県大会上位入賞を目標に活動していますが、その活動の中でもたくさんの方の支えが大切なものとなっています。これからも普段からお世話になっているたくさんの方々への感謝を忘れず、目標にむかって努力を重ねていきます。応援よろしくお祈いいたします。



弓道部



吹奏楽部

吹奏楽部は、3年生9名、2年生15名、そして4月に入学した1年生たちと一緒に活動しており、支えてくれる保護者への感謝を忘れず、みんなで演奏できることに喜びを感じながら日々練習に励んでいます。

外部の方に演奏を審査してもらい自分たちの力を試す吹奏楽コンクールは、年に一度しかありません。しかし、毎年5・6月に開催する定期演奏会や文化祭、校内で昼休みに行う中庭コンサート、その他各種イベント等におけるパフォーマンスをお客様に見ていただくことが、私たちの成長する糧となっています。

普段の練習では、限られた時間の中で音出し、ロングトーンなどの基礎、イベントに向けた曲の譜読み、合奏といったメニューを、時期や練習時間に応じて組み合わせ、自分たちに必要な練習は何かを考えながら取り組んでいます。



書道部



私たち川内高校書道部は、顧問前園先生のご指導のもと、3年生3名、2年生6名、1年生4名で日々活動しています。活動場所では五階校舎最上階にある書道室で、基本的に平日の放課後のみ活動しています。部の雰囲気は、明るく元気でフレンドリーな部員が

ます。また、部員同士の仲が良く、演奏をより良くするためにどうしたらよいかを一緒に考え、気づいたことは先輩後輩を問わず話し合い、高め合うことができます。これからも、支えてくれる保護者や先生方をはじめとする全ての方への感謝を忘れず、コンクールで金賞を取るという目標を達成するために部員一同頑張りますので、今後とも応援よろしくお祈いします。



多いので、毎日の活動が楽しく笑顔があふれています。主な活動内容は、個人の作品制作と校外での書道パフォーマンスです。作品制作は、大会やいろいろな展覧会に出品し、パフォーマンスは、校内で行う文化祭や中庭でのものに加え、外部からの依頼を受けてパフォーマンスすることもあります。活動を通して作品制作では集中力を、パフォーマンスでは協調性を鍛えることができます。どちらも一生懸命取り組み、受賞できるように、より良いパフォーマンスになるように努力しています。令和七年度は、九州大会（沖縄）の県の代表に選出され出場します。大変だと思ひますが、部員全員で一つのことをやり遂げた後には、大きな達成感を味わうことができます。今後また皆さんのことに挑戦し、精進していきますので、応援よろしくお祈いします。

鹿児島可愛山同窓会

会長 後藤 孝行（高20期）
鹿児島可愛山同窓会は、鹿児島市近郊の同窓生を中心に、旧交を温めています。

二年ごとに総会・懇親会を実施しており、今年は開催年になっています。

令和五年に、平成三十年以来となる総会を開催しましたが、母校から校長先生はじめ本部役員の方々、そして当会会員の総勢七十五名の方々に参加いただき、大いに盛り上がりました。今年も多くの方々に集まりいただき、旧交を温めていただければと思っております。

今年の開催は、十一月八日（土曜日）、前回からの会場となる山形屋での開催を予定しております。お近くに、川内高校の卒業生がいらっしゃったら、是非お声かけいただきましようお祈いします。多くの皆様方との再会を楽しみにしております。

本部可愛山同窓会

昨年8月3日（土）18時より、ホテル オートリにおきまして令和6年度 可愛山同窓会本部総会が開催されました。

実行委員会の皆様・各期幹事のご尽力で、県外各支部からのご出席を含め、200名余りの会員の皆様にご出席いただき、滞りなく審議を終了いたしました。

役員改選の年に当たりましたが、



下妻昭一会長（30期）の続投が決まり役員一同新たな気持ちで、運営に取り組んで参りますので今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

また、懇親会でも各期久しぶりの再会でおおいに盛り上がりました。残念ながら参加できなかった会員の皆様、今年も8月の第1土曜日を予定しております。ぜひご参加をお待ちしております。



野球部

文武両道 英知を磨く 頑張る部活

私たち川内高校野球部は、念願の甲子園出場と「文武両道」を目標に掲げ、3年生17名、2年生10名、1年生14名の計41名で一丸となって、日々学業と部活動の両立に励んでいます。限られた時間の中で工夫して練習に取り組み、一球一球に集中して技術と精神力の向上を目指しています。

進学校という環境の中で野球を続けることは決して容易ではありませんが、その分、支えてくださる先生方や家族、先輩方への感謝の思いを忘れることなく、日々努力を重ねています。

試合では、最後まで諦めず粘り強く戦う姿勢を大切に、仲間と声を掛け合いながら、一戦一戦を全力で戦っています。秋、春の大会では強豪私立高校を相手に苦戦を強いられながらも、最後の夏の大会で悔いのない結果を残せるようチーム全体で必死になつて練習に取り組んでいます。

川内高校野球部の一員としての誇りを胸に、今後も学業と野球の両方に真摯に向き合い、さらなる成長を目指して精進してまいります。

これからも変わらぬご指導、ご声援を賜りますよう、よろしくお祈い申し上げます。



陸上部



私たち陸上部は3年生8名、2年生14名の計22名で南九州大会、インターハイ出場を目標に、文武両道で日々練習に励んでいます。

限られた時間の中で、部員全員でメニューを考え、試行錯誤しながら練習に取り組む、昨年度は県新入大会において、女子400mハードルと男子砲丸投げ2位に入賞し九州大会に出場。女子4x400mリレーが決勝に進出するなど、他にも多くの種目で準決勝に進出し、部員全員が自信をつけて冬季の練習に入りました。5月の県総体に向けて、きつい冬季の練習で見直した基礎体力、技術そして最後までやりきる気持ちを大切に、残り少ない1日1日の練習を積み重ねて、ひとりひとりが満足いく結果を出せるよう努力します。

私たちがこのような恵まれた環



男子バレーボール部



私たち川内高等学校男子バレーボール部は3年生7名、2年生9名、マネージャー4名、そして新入生とで顧問の田代先生のご指導のもと、県ベスト8を目指して日々練習に励んでいます。

普段の練習では、平日2時間、休日3時間という限られた練習時間のなかで最大限のパフォーマンスを発揮することができるよう、一つ一つのプレイを考えなが

境で陸上に打ち込んでいるのは、保護者や先生方、そして同窓会のみなさまの応援やご支援のおかげです。昨年度は、いただいた寄付金で念願の新しいテントを購入させていただきました。本来にありますがごさいました。これからも部員一同、感謝の気持ちを忘れずに精進していきます。今後とも応援よろしくお祈いします！

第32回 OBゴルフ大会

恒例のOBゴルフ大会が令和7年4月29日(昭和の日)に市比野グリーンヒルカントリークラブで開催されました。

今年は天候にも恵まれ、県内外から224名の参加があり大いに盛り上がりしました。

団体戦・個人戦の結果は、次の通りです。

優勝 45期

山口知之、竹下浩志、宇都浩一郎 他6名

準優勝 28期 第3位 37期

第4位 24期 第5位 14期



優勝 山口 定信(18期)

準優勝 山口 知之(45期) 第3位 迫 禎和(36期)

第4位 林 廣昭(28期) 第5位 後藤 喬(14期)

ご寄付ありがとうございました。

川内高校奨学会への寄付一覧【自令和6年4月1日 至令和7年3月31日】

寄付者氏名	金額
高2 2期 34H・35H・38H 有志	30,000
高2 7期卒後50年寄付	1,150,000
合 計	1,180,000

◆令和7年度奨学生

今年度の奨学生を5月15日開催の川内高校奨学会役員会で3年生7名、2年生6名決定しました。1年生は学内選考会を経て9月の役員会で決定し、奨学金の支給を行います。

◆令和6年度3月卒業奨学生の進路先

この春卒業した奨学生の進路先は、慶應義塾大学、山口大学、九州大学、福岡大学、熊本大学、鹿児島大学2名

可愛山同窓会本部・各支部役員名簿

※は各支部連絡者 令和7年5月

可愛山同窓会本部		
会 長	下 麥 昭 一	高30期
副会長	愛 川 清	高31期
"	小田原 浩	高32期
"	羽 田 美由紀	高33期
"	桑 原 宏 志	高34期
"	岸 上 久 美 子	高46期
監 事	坂ノ上 四 雄	高31期
"	川 原 典 隆	高45期
書 記	森 園 健 太	高54期
会 計	美 座 秀 成	川高事務室
顧 問	中 俣 知 大	高20期
"	橋 口 知 章	高26期
相 談 役	山田島 稔	高17期
事務局長	鶴 永 ひとみ	高32期

TEL(FAX兼用)0996-20-2031
(火・木 10時～16時 在室)
E-mail: s-enoyama@sgr.bbiiq.jp

熊本可愛山同窓会		
会 長	小井手 清 一	高17期
代表幹事	宮 田 和 正	高28期
会 計	鶴 殿 暁 子	高43期

※宮田 和正 (096-343-2389)

宮崎可愛山同窓会		
会 長	浜 田 澄 磨	高10期
副会長	川 野 融	高18期
事務局	村 田 誠	高24期

※浜田 澄磨 (090-1513-5449)

東京可愛山同窓会		
名誉会長	桐 原 保 法	高17期
会 長	久留主 泰 朗	高30期
副会長	尾 曲 博 司	高20期
"	徳 丸 律	高21期
幹 事 長	渡 邊 泰 久	高26期
副幹事長	宇 都 正 信	高44期
"	入 角 英 樹	高46期
"	八 嶋 香 織	高46期
"	吉 永 美 紀	高48期
"	山 田 大 祐	高64期
会 計	福 山 伸 一	高24期
"	植 村 健 二	高28期
監 査	山 下 重 孝	高22期
"	東 郷 順 三	高24期

※渡邊 泰久 (090-7183-1768)

関西可愛山同窓会		
会 長	山 口 健 一	高20期
副会長	有 馬 洋 一	高21期
"	桐 原 一 書	高24期
幹 事 長	宮 野 覚 蔵	高24期
会 計	金 生 佐 代 子	高25期
監 事	島 山 八 重 子	高22期
事務局長	知 識 文 彦	高33期
事務局	濱 道 吉 則	高25期
"	柴 田 昌 江	高26期
"	瀬戸口 広 幸	高26期
"	上 山 哲 郎	高28期
"	赤 城 美 智 代	高34期
"	森 下 聡 子	高36期
"	釘 崎 幸 治	高44期

※宮野 覚蔵 (06-6433-3340)

福岡可愛山同窓会		
会 長	牧 田 隆	高20期
副会長	井 上 哲	高20期
"	寺 脇 之 博	高34期
代表幹事	影 山 裕 樹	高31期
副代表幹事	田 中 慎 太 郎	高40期
"	羽子田 政 則	高41期
幹 事	紙 屋 まり子	高24期
"	高 柳 健 一	高24期
"	角 勤 子	高29期
"	鈴 木 徳 之	高33期
"	竹 田 大 作	高43期
"	奥 大 一 郎	高48期
"	小 西 渚	高60期
監 事	圓 林 龍 二	高17期
代表顧問	新 留 育 郎	高17期
顧 問	香 月 揚 子	高11期
"	泰 平 尚 信	高13期
"	西 谷 和 武	高14期
"	上 西 治 志	高17期
"	寺 地 明 子	高18期

※新留 育郎 (090-5472-4881)
※影山 裕樹 (090-9795-6896)

阿久根ガラッパ会		
会 長	林 勝次郎	高17期
世話役	新 町 博 行	高46期

※林 勝次郎 (0996-72-2075)

鹿児島可愛山同窓会		
会 長	後 藤 孝 行	高20期
副会長	斎 藤 義 久	高19期
"	堀之内 隆	高22期
"	愛 甲 涼 子	高23期
"	川 畑 洋 一	高27期
"	道 岡 良 一	高29期
"	新 門 和 洋	高33期
顧 問	上小鶴 貞 子	高女28期
"	橋 本 幸 雄	高3期
"	安 楽 満 男	高12期
"	小 島 政 利	高14期
"	石 走 一 行	高17期
事務局長	原 口 義 明	高35期

※堅山 英之 (080-3724-6629)

県庁可愛山会		
会 長	坂 元 純 一	高36期
副会長	中 村 育 生	高37期
"	白男川 正 守	高38期
幹 事 長	鍋 田 康 之	高38期
幹 事	福 重 由 香	高43期
"	宇 都 鉄 則	高48期
"(書記)	徳 重 朋 幸	高52期
"	堅 山 英 之	高57期
"	山 平 智 子	高65期
会 計	東瀬戸 大 志	高60期

※徳重 朋幸 (デジタル推進課 099-286-2366)

編集後記

一年が過ぎるのは早いもので、また会報発行の時期が参りました。毎年原稿をお寄せいただく方々も同じお気持ちではないでしょうか？

おかげさまで会報60号も無事お届けでき、携わっていただいた皆様に感謝申し上げます。

先日、可愛山ギャラリーに常設展示されている生頼範義氏の作品と山本実彦氏の書簡が、市歴史資料館とまごころ文学館に貸し出され、それぞれ特別展に展示されました。あらためて、川内高校の歴史と先輩方の偉大さを感じ、同窓生として誇らしく思いました。

帰省の際には、ぜひ、同窓会館二階のギャラリーをのぞいて見られませんか。卒業生や恩師の作品が数多く展示されております。

鶴永 ひとみ(高32期)

現在の同窓職員

令和7年4月1日現在

校務補助	上 村 里 美	(高28期)
校務補助	上 馬 場 安 宏	(高30期)
寮 監	野 沢 伸 一 郎	(高32期)
事務補助	手 打 聖 香	(高35期)
英 語	前 田 知 津 子	(高46期)
理 科	吉 留 太 郎	(高48期)
保健体育	森 園 健 太	(高54期)